

4、前年度までの取り組みを固める

2018年度までの校内研究は「伏山スタンダード」の確立と基礎学力の定着を目標に研究教科を国語科として2年を終えた。一昨年までは、語彙を蓄え、伝える研究を深めてきた。そして、各学年の発達段階に応じた指導方法や、指導の系統性などについて研究をすすめてきた。昨年度は、『言葉の力』から『書く力』の育成へと発展させるための授業を、どのように作るのかを最大のテーマとして、研究を進めた。また、サブテーマである「ペア」や「グループ」など様々な人数規模での話し合い活動を発達段階に応じて取り入れることで「自らの思いや考えを伝え合うことのできる力」を身につけさせることをめざしてきた。

そこで今年度は前年度までの「国語科」で研究してきた内容を踏襲し、ICT 機器を取り入れた授業づくりについて研究する。

「伏山スタンダード」について

授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの授業で以下のような流れを取り入れた授業を実施する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習のめあてをつかむ 2. 内容を理解しながら教材や資料を読み深める 3. 解き方・考え方が分かるように自分の考えを書く 4. 少人数でお互いの考えを交流する 5. 学習のまとめをする ○授業の中で、自分と友だちの考えを比べる活動があり、友だちの考えの良さに気づくことができる。 ○学習のまとめ段階では、キーワードを中心に自分の考えをまとめたり、公式やきまりの理由をきちんと理解したりする。
学習規律	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインを考慮し、掲示物などを配置する。 ○ロッカーや教室内が整頓されている。また、教室を移動する際には、椅子を必ず入れ、机も整列させる。 ○お道具箱の整理の仕方や持ち物の置き場所を統一する。
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ○「家庭学習のてびき」をもとに、児童に家庭学習のやり方や見本を示す。 ○自学自習力の育成に向けて、自学自習ノート等の取組みを実施する。 ○「自主学习週間」 中学校と連携をして、中学校の期末テスト期間に小学校も自主学习に取り組む期間を作る。
地域との連携 保護者連携	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習のやり方や見本を示した『家庭学習のてびき「さあ、勉強しよう!」』を作成し、年度当初に保護者に配布する。